



令和5年度「ちっちゃい探検隊①」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和5年6月24日(土)～25日(日) 泊2日
2. ねらい
 - ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
 - ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
 - ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。
3. 参加対象 小学校1～3年生
4. 応募者 64名
5. 参加者 34名 (大学生ボランティア 15名)
6. 参加費 3,200円
7. 日 程



6月24日(土)		6月25日(日)	
10:15	受付	6:30	起床
10:45	出会いのつどい	7:00	朝のつどい
11:00	楽しいゲームで仲良くなろう!(レクリエーション)	7:30	掃除
12:00	昼食	8:00	朝食
13:00	輝け!!レンジャーペンダントで大変身(クラフト)	9:00	荷物整理・退所点検
14:30	色の源を取り戻せ! ~七色の戦士たち~ (オリエンテーリング)	9:20	伝説の言葉でやっつけろ!! (レクリエーション)
17:15	夕食	10:00	わくわく彩りパーティー(ピザ作り)昼食
18:15	力を合わせて言葉を集めよう! (館内探検)	13:00	片付け
20:00	入浴	13:30	感想記入
21:30	就寝	14:00	別れのつどい
		14:30	解散

II 実施状況

■1日目の活動の様子<6月24日(土)天候 晴>

ちっちゃい探検隊①としては4年ぶりに1泊2日での実施となった。緊張している子どもたちを学生ボランティアが優しく迎え入れ、34名の子どもたちが集合した。そして突然現れたレンジャーたちに、子どもたちは嬉しそうに歓声をあげていた。レンジャーたち、学生ボランティアたちと交流レクリエーションをする中で、緊



張っていた子どもたちにも、たくさんの笑顔がみられた。

昼食後、子どもたちが虹レンジャーとなった証のペンダントを作った。レンジャーや学生ボランティアの声かけによって、子どもたちが夢中になってペンダントを作る様子がみられた。オリエンテーリングでは、色の源を集めるために、どの班も力を合わせて取り組んでいた。

夕食後のミッションでは、子どもたちの活躍のおかげで、ブラックジョッカーをやっつける言葉集めに成功。和やかな雰囲気ですべての日程を終えた。

■2日目の活動の様子<6月25日(日)天候 晴>

2日目は TOTO 便器体操で始まり、前日は姿がなかったピンクレンジャーも復活した。朝食後のパイプラインで、ブラックジョッカーをおびき寄せることができ、子どもたちの活躍のお陰で、ブラックジョッカーをやっつけることに成功した。

ピザづくりでは、粉を練るところからはじめ、班のみんなで力を合わせてピザを仕上げていた。自分たちで頑張って作り上げたピザを食べ、みんな満足そうであった。おやつゼリーのふたの裏には、レンジャーたちからお礼のメッセージがあり、みんなうれしそうな様子だった。

最後に代表の子どもとボランティアが感想を発表し、名残惜しい雰囲気となった。学生ボランティア、職員が、保護者と子どもたちを見送り、すべての日程を無事に終えることができた。

Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ はじめて知らない人と泊まって、とてもきんちょうしたけど、遊んでいたら仲良しになってうれしかったです。
- ・ 友だちと仲良くなれたこと、いろんな所にミッションがあったこと、ピザパーティをしたことが楽しかったです。
- ・ ペンダントを作ったり、みんなでゲームをしたり、とても楽しかったです。うれしかったことは、みんなの力を合わせてブラックジョッカーを倒せたことです。みんなでいい思い出を作れてよかったです。また次のちっちゃい探検隊にも来たいです。

2. 成果

- ・ レンジャー、ブラックジョッカーの演技で、子どもたちに分かりやすいストーリーとなり、子どもたちを引きつけることができた。
- ・ はじめて宿泊を経験する子どもも多くいたようだが、多くの学生ボランティアのサポートのおかげで、トラブルもなくすべての日程を終えることができた。

3. 課題

- ・ 学生ボランティアとの連携不足で、情報が伝わっていないことがあった。子どもたちの活動がより安全・安心なものとなるように、学生ボランティアとの情報交換を確実に行う必要がある。
- ・ 職員が子どもたちの前で学生ボランティアを呼ぶときに、以前は「サポーター」を使用していた。呼称について確認する必要性を感じた。

